

報道関係者各位

2026年6月10日
学校法人神奈川大学

神奈川大学の特許技術「三相乳化技術」による界面活性剤ゼロを実現した新商品が、
大手化粧品製造販売会社アルソア^{けいおう} 慧央グループより発売されました

2028年に創立100周年を迎える学校法人神奈川大学(本部:横浜市/理事長:石渡 卓)では、本学が保有する特許技術※三相乳化技術が、化粧品・健康食品・食品などの研究開発・製造・販売を行う、株式会社アルソア慧央グループの新商品に採用され、2026年6月1日(月)に販売が開始されました。創立55周年に先立つブランドリニューアルに伴い実施された商品リニューアルにおいて、4商品(アルソア エッセンシャルセラム、アルソア モイストセラム、アルソア モイストベース、アルソア ボディリペアプラス)に本学の特許技術が採用されています。

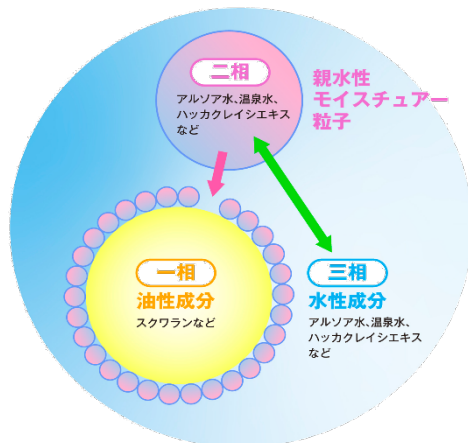
今回の取り組みは、「肌が自らすこやかになるうとする働き(皮脂膜・新陳代謝・水分保持)」に着目して商品開発を進めている(株)アルソア慧央グループが、三相乳化技術の活用について長年にわたり研究開発を重ね結実した成果となります。

従来の化粧品は、製造過程で乳化状態を保持するために界面活性剤を添加していますが、本学の特許技術である三相乳化技術を使用することにより、界面活性剤を使わずに安定した乳化状態を保持した化粧品の製造が可能となります。乳幼児からシニアまで安心して使える「肌へのやさしさ」と、「高い保湿力」の両立を実現しました。

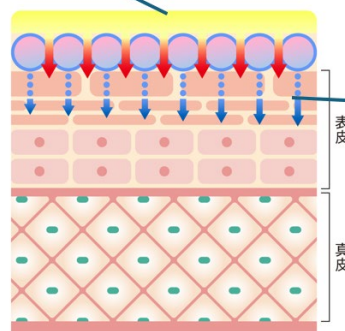
なお、当該技術を基に設立された未来環境テクノロジー株式会社は、本学との連携を通じた技術の社会実装を推進した結果、直近5年間の売上は70%増加し、商品化した企業は化粧品関連企業だけでも10社に達しました。今後も神奈川大学は、研究成果の実用化を一層推進するとともに、その収益を教育・研究へ還元し、さらなる社会貢献を目指してまいります。

商品詳細や購入方法等は、(株)アルソア慧央グループのホームページをご覧ください。

※三相乳化技術…従来の乳化方法に欠かせない界面活性剤の代わりに、柔らかい親水性ナノ粒子の物理的作用力(ファンデルワールス引力)を利用した新しい乳化方法です。この乳化方法は、物質固有の性質に依存せず粒子の大きさや形だけに依存する、従来の乳化方法とは全く違うアプローチに基づく、画期的な方法です。この技術を広範囲の産業分野に活かして、様々な環境適応型エマルジョンをつくることができます。



油成分(スクワランなど)
が肌を覆い



水性成分が角層に
ゆつくりと浸透する。

三相乳化技術の基本構造と保湿成分の角層浸透イメージ

【三相乳化技術が活用された主な商品】

・製品名：アルソア エッセンシャルセラム

・特徴：目元や口元、おでこなど、年齢サインがとくに気になる部分へ集中的にアプローチする新製品のスポットケア美容液です。「三相乳化技術」を採用し、界面活性剤(乳化剤)ゼロを実現しました。白鶴霊芝エキス(保湿)やナイアシンアミド(皮ふコンディショニング)などを配合し、乾燥しやすい細かなパーツにもピタッと密着。豊かな保湿感が持続し、乾燥による小ジワを目立たなくして(効能評価試験済み)、ふっくらとしたハリと弾力のある肌へ導きます。

・価格：7,700円(税込)/20g



三相乳化技術を採用した新商品ラインアップ

【企業概要】

企業名：株式会社アルソア慧央グループ

ホームページ：<https://www.arsoa.co.jp/>

企業概要：1972年の創立以来、アルソアは、「人と自然との調和の中に、真の健康と幸福を創ります」という企業理念のもと、その理念を体現するため、1998年に山梨県北杜市小淵沢の自然豊かな地へ本社を移転。「心・体・肌」のすべてが健康であることで真の美しさが生まれるという「三健の精神」を永遠不変のテーマに、製品づくりやライフスタイルの提案を行っている。自然とともに、一人ひとりの人生を豊かに彩り、ともに歩む、ウェルネスの実現を目指し、一人ひとりの生き方そのものと調和するブランドを目指している。グループ連結売上高98億円。

【神奈川大学 概要】

ホームページ：<https://www.kanagawa-u.ac.jp/>

1928年創立、11学部22学科プログラムを擁する総合大学で、約1万8,000人の学生が学んでいます。横浜・みなとみらいにキャンパスを構え、世界55ヶ国、217の協定校・機関と交流を推進。2028年には、創立100周年を迎えます。

<各種お問合せ>

*商品に関して

アルソア PR 事務局(担当:宮田・伊佐・佐井・鈴木宛) TEL. 03-5572-7351
E-mail. arsoa-pr@vectorinc.co.jp

*特許技術に関して

産学官連携課 浅井基木 TEL. 045-481-5661(代表)
E-mail. sankangaku-renkei@kanagawa-u.ac.jp

*取材に関して

広報課 中嶋健一 TEL. 045-481-5661(代表) E-mail. kohou-info@kanagawa-u.ac.jp